

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	薬剤抵抗性半球性てんかん発作かつ片麻痺の症状に対する半球離断の術後麻痺の変化の評価
研究責任者	代表:藤本礼尚 分担研究者:小児神経科 榎日出夫
研究実施体制	解析およびデータ収集(藤本、榎);単一施設、非盲検、後方視
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2022年12月
対象者	2009年1月~2022年9月の間に半球離断を受け 術前術後で麻痺の評価がなされている症例
研究の意義・目的	既に完成した麻痺は対側健康脳で代償されているという説があるが手の巧緻性は病変側でコントロールされている可能性がある、という仮説証明を半球離断術前後の麻痺評価で証明する事を目的とする。
研究の方法	【方法】当院で半球離断術を行った方で術前後にBrunnstrom stageで麻痺評価を比較する。 【選択基準】半球離断を受け 術前術後で麻痺の評価がなされている症例 【除外基準】術後発作残存、水頭症症例 【予定症例数】12 症例 【症例数の設定根拠】2009年1月から2022年9月までで上記条件に合致した例数
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 てんかんセンター (氏名) 藤本礼尚 TEL:053-474-2222(代表) てんかんセンター外来 9:00~17:00 平日